

ニコニコ箱

八木さんの指揮が大変上手だったので。(平野洋一)  
 鈴木さん、卓話ありがとうございます。(生田健太郎)  
 先日の間海での炉辺会談にご出席いただきました皆様、ありがとうございます。(岩崎 新)  
 八木さんのタクトの振り方、最高でした。これからもソングリーダー続けてください。(岩下春幸)  
 鈴木さん、卓話ありがとうございます。(岩見祐樹)  
 久しぶりに会長職務代行をさせていただいたので。(上田祐広)  
 明日、啓新高校卒業式です。校長式辞は、熱を込めてやります。(荻原昭人)  
 鈴木さん、卓話ありがとうございます。(梶崎晴康)  
 東京の孫娘が3大関門と言われる「女子学園中学校」に合格し、進路が見えてきて気を良くしています。(片岡正明)  
 福井市医師看護学校の卒業式の為、早退します。卒業生41名の9割が地元福井の医療施設に就業予定です。(片山 元)  
 近畿経済産業局「省エネおじさんカード」に清川メッキのおじさん1名が選ばれました。本日の福井新聞をご覧ください。(清川卓二)

居酒屋で履き間違えた靴が出てきました。(小森富夫)  
 鈴木さん、卓話ありがとうございます。(佐々木公啓)  
 鈴木会員、卓話ありがとうございます。(竹澤文孝)  
 昨日の季楽会は善五郎にてとても楽しく開催されました。お世話役の岩下会長、野尻幹事ありがとうございます。(玉木 洋)  
 八木さんと新しいルールの麻雀で楽しめそうなので。  
 JTB鈴木さん、卓話お疲れ様でした。(中田善弘)  
 鈴木さん、卓話ありがとうございます。(服部克成)  
 八木さんの指揮が良かったので。(平田 制)  
 過日、中山さんと近藤さんにお預かりしたので。(八木信二郎)  
 鈴木さん、卓話ありがとうございます。(山田隆史)  
 高橋宏幸  
 【結婚記念日御祝】登谷大修  
 各 君

ロータリー財団増進特別寄付金

本日、福井駅前B街区再開発事業(マルノウチフクラ)の引渡しを無事終えることが出来ました。関係していただいた全ての皆様に感謝いたします。(上田祐広)  
 地区活動が多い時期ですが、頑張ろうと思います。(城戸利枝)  
 八木ニコニコ委員長の指揮が今ひとつでしたので財団寄付にしました。(佐々木知也)  
 西岡さんへの饞別です。(清水則明)  
 西岡さんと一緒にになりましたので。(辻橋清和)  
 鈴木さん、卓話ありがとうございます。(寺本光宏)  
 春の訪れを感じつつ鈴木会員の卓話、楽しみです。(野村直之)  
 西岡さん、高橋さん、庵さん、ご栄転おめでとうございます。(吉岡正盛)

西岡宏二郎 各 君

米山奨学特別寄付金

鈴木さん、卓話ありがとうございました。(上田祐広)  
 今日、住みかえ情報館 林さんと一緒にしました。(山内鴻之祐)  
 山岸恒一 各 君

寄付金の状況

	2月26日分	累計	目標
ニコニコ箱	57,000円	2,032,000円	3,000,000円
ロータリー財団	21,000円	3,218,680円	4,457,300円
米山奨学金	6,000円	1,684,150円	2,726,000円

ありがとうございました。

第2回 炉辺会談 テーマ「福井のために、私たちができる地域貢献とは」

第1班 (開催日時) 2026年2月12日(木) 18:30～ (開催場所) オージュ  
 (参加者) 座長:木下 勝元 世話役:野路 純平 菅原 将高、生田 健太郎、竹下 耕輔、油谷 光紀、清水 嗣能、西澤 雄三、市橋 加奈子、藤本 潤一、村中 洋祐、梶崎 晴康、桑原 慎治 以上13名

- ☆ 職業奉仕という点から「価値提供」「納税」「雇用」。
- ☆ 一生懸命仕事をすることが地域貢献になる。
- ☆ 観光を開発し、福井の魅力を発信すること。
- ☆ Iターン、Uターンが弱いので人の誘致ができる事業ができればいい。
- ☆ 若い人に楽しく、力強く働いてもらうために自らが楽しく働くこと。
- ☆ 福井の良いところを自社サイトで紹介するなどして発信すること。
- ☆ 従業員、職人さんたちが安心して働ける環境を整えること。
- ☆ 高校卒業後に県外に出た後、福井に戻りたい、戻れる環境を創ること。



ビジター受付

■3月12日(木) 福井西 12:00～12:30 福井アカデミアホテル1階フロント  
 ■3月25日(水) 福井北 12:00～12:30 ザ・グランユアーズフクイ1階

事務所 〒910-0006 福井県福井市中央1丁目3番1号加藤ビル5階 TEL:0776-25-0633 FAX:0776-24-8622 例会場 ザ・グランユアーズフクイ3F TEL:0776-24-3200 例会 毎週木曜日12:30～13:30 クラブ会報委員会 委員長:長谷 美左子 副委員長:谷崎 由美子 委員:村田 長隆・林 明美・宮本 泰成・石川 浩基・高村 昌裕 ソングリーダー:清川 卓二 サブリーダー:木村 憲一・北島 恬・野尻 章博・渡辺 和男・谷崎 由美子・庵 貴敏・八木 信二郎・佐々木 公啓 ホームページ http://www.fukui-rotary.com/ E-mail info@fukui-rotary.com 創立 1950年(昭和25年)10月15日 RI承認 1950年(昭和25年)12月4日(承認 No.7647)	現在会員数 <h1>141</h1> 名
---	-------------------------



《2025-2026年度 R.I. 会長メッセージ》 クラブテーマ:繋ぐ、飛躍する 地区スローガン:未来へつなぐ  
 バストガバナー 宮崎 茂和 / ガバナーエレクト 平野 洋一

よいことのために 手を取りあおう

R.I.会長	R.I.第2650地区ガバナー
フランチェスコ・アレツツォ	小崎 学

3月は「水と衛生月間」です - 感染症や食中毒などによる衛生環境が悪化したときの為の衛生管理の知識を持つことが、健康を守る鍵となる。 -

本日の例会 2026年3月5日 第3661回 今後の予定

12時30分 開会点鐘  
 会長挨拶  
 栄誉行事  
 皆出席御祝/ 増田 喜一郎(1年)  
 在籍御祝/ 榑原 徹也(10年)・南 宏季(5年)  
 誕生日御祝/ 清水 則明・中広 久・前川小百合・橋本 一也・須賀原 和広・出雲路 康熙・藤本 潤一・石川 浩基・木村 佳美・木村 憲一・開発 毅  
 配偶者誕生日御祝/ 坂川 佳之・清水 嗣能・北川 聡・田畑 賢一・長谷 美左子・早川 和伸・斉藤 信二・生田 健太郎・梅井 啓介・岩崎 新・長谷川 英一  
 結婚記念日御祝/ 石川 浩基・鈴木 武雄・田畑 賢一・上田 祐広・後藤 正邦・北島 恬・片山 元・菅原 将高  
 退会挨拶/ 生田 健太郎会員・高橋 宏幸会員・高原 一祥会員・平田 制会員  
 委員会報告・幹事報告・その他  
 地区委員会卓話(地区RLI委員会 野口 真理子委員長)  
 13時30分 閉会点鐘

■ 3月12日(木) 休 会  
 ■ 3月15日(日) ドラゴンリバー交流会主催: 足羽川清掃活動  
 ■ 3月19日(木) 福井RACと合同例会(夜間)  
 ■ 3月26日(木) My Rotaryについて(公共イメージ委員会)  
 ■ 4月2日(木) 花見例会(夜間)  
 ■ 4月5日(日) 地区大会

会長挨拶

2025-26年度 直前会長 上田 祐広

本日は江守会長、高木木副会長ともお休みということで、直前会長の私が会長職務代行をさせていただきます。  
 ロータリー創立記念日(2/23)の週に会長挨拶させていただくことを大変光栄に思います。久しぶりですので力が入りすぎ話が長くなるかもしれませんが、大目に見てください。よろしく願いたします。  
 さて、本日は2つの話題で話させていただきます。  
 ひとつめは近年の激甚化する気候関連災害の適応策について、私の出身大学の土木工学科の教授の講演会で聴いた話です。 これまでは過去の降雨量・潮位などに基つて災害を防御する計画を作成してきたそうですが、現在の計画では実質的な安全が確保できません。ざっくりと言えば、降雨量が1.1倍になり、河川流量が1.2倍、洪水発生頻度が2倍になっているそうです。以上は河川関係ですので土木分野の話ですが、私の生業である建築分野でも、国交省が定める設計時の基礎数値に影響が出てくるかもしれません。最近急に気温が上がって春めいてきていますし、あっという間に暑くなってきそうです。今年が災害のない年になることを祈らずにいられません。  
 あと、ふたつめは2/22に開催された姫路城マラソンの件

です。私事ですが、正月休み時に屋根の先端の雪を落とそうと思って上を向いたら、足元の庭石につまずき尻もちをついて尾骨を痛めてしまいました。本番まで期間がなく練習もできないので、キャンセルするか否か非常に悩みました。その後2月初旬には痛みが薄れてきたので慌てて練習し、本番にビビリながら参加したのですが、何とか歩かず無事完走できました。今回私としては予想以上の結果で、めでたく27回目のフルマラソン完走となった、という次第です。  
 なぜこんなに無理してフルマラソン大会に出るのかというと、最近故障することが多くなってきていて、今回キャンセルすると二度と姫路城マラソンには縁がなくなって参加できなくなる、と思ったからです。今回の参加を通して、物事は前向きに考えれば意外と何とかなるもんだ、と改めて思いました。  
 いよいよ平野ガバナー年度が近づいてきています。今後何かとイベント・会議等の参加依頼があると思います。仕事や家庭が忙しい時期もあるでしょうけど、ちょっと無理して参加していただくことが、クラブにとっても各自にとってもプラスとなると思いますので、前向きに考えご参加いただきますよう、よろしく願いたします。  
 最後になりますが、本日は(株)JTBの鈴木会員に卓話をしていただきます。鈴木さんの生い立ち等、楽しい話が聴けるのが大変楽しみです。鈴木さん、よろしく願いたします。



会 場: ザ・グランユアーズフクイ 登録受付: 18時00分  
 会 場: ザ・グランユアーズフクイ 開会点鐘: 18時30分  
 福井ローターアクトと合同例会(夜間) 閉会点鐘: 20時00分

次回の例会 2026年3月19日(木)

## 2026年2月26日 第3660回

出席報告	● 現在会員	141名	例会修正出席率	2月5日	
	● 出席者	70名		● メークアップ	25名
	● 欠席者	58名		● 欠席者	21名
	● 出席免除者欠席	13名		● 修正出席率	84.8%
	● 今回例会出席率	54.7%			

## 委員会報告

## 環境保全委員会 吉岡 正盛 委員長

いよいよ、ドラゴンリバー、足羽川清掃奉仕活動の季節が参りました。3月15日の8時より、大瀬橋、足羽大橋間及び下新橋から600mの間において足羽川の清掃奉仕を致します。当日、クラブジャンパー、帽子をお持ちください。当日は、ホテルリバージュアケボノ南側の方に集合となっております。道具等はたくさん揃っておりますので、何人来られても対応できるかと思います。既に、ご案内が届いていると思しますので、出欠の方の連絡をいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

## 会員卓話

## 鈴木 武雄 会員



演 題 「JTBソリューションのご紹介」 ～JTBがお手伝いできること～

皆様、こんにちは。あらためまして JTB 福井支店支店長の鈴木武雄です。本日は貴重な機会をいただき誠にありがとうございます。

本日は現在の弊社の事業内容を中心に、このような内容でお話しさせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

はじめに、自己紹介をさせていただきます。

家族は、妻と高校3年の息子の3人家族で、この一年間は、前任地の関係でそれまで住んでいた三重県の津市に家族を残し単身赴任の生活をしてきました。先週、息子の大学進学が無事に確定し、息子の上京のタイミングで、来月末に妻が福井に予定通り来てくれることになりました。これから益々福井での生活を満喫していきたいと思います。

私は埼玉県南部の新座市というところに生まれ育ちました。小さい頃から外で遊ぶのが大好きで、小学2年生から少年野球チームに入りました。引越して荷物整理をしていたら懐かしい写真が出てきたので思わず載せさせていただきました。おそらく小学3年生の時のものだと思います。以来、高校まで野球を続けましたが、特に高校ではまさに野球漬けの生活を送りました。

高校では野球部の寮での生活だったのですが、当時は和室の5人部屋でした。先輩後輩のひと昔前の上下関係は置いときまして、同期同士でもこれまでそれぞれの家庭で過ごしていた15～16歳の他人同士がいきなり共同生活を始める訳ですから、初めから仲良くいい関係なんていうことはありません。各家庭での生活スタイルや個人々の考え方の違いから、むしろ相手の悪いところばかりが目につき、関係が悪くなることもありました。そして、その寮の中で、同じ部屋で、しかも学校でも同じクラスとなると、まさに24時間いっしょで、ほんとに家族もしくはそれ以上の付き合いです。となると、好きとか嫌いとか言っていられません。もう受け入れるしかないという状況になります。でもそう思って相手を受け入れ始めると次第に相手も同様にこちらを受け入れてくれるようになり、そしてお互いを理解しようとし、いつの間にか良好な関係となっていました。意図せず、与えられた環境によって得たことですが、相手を理解し自分を理解してもらうためには、「まず相手を受け入れる」ということが、野球をとおして得た多くの学びの中で、今でも活かしている大きな学びの一つです。残念ながら甲子園には出場できませんでしたが、監獄のような野球部の寮で、チームメイトと共に過ごした時間は、本当に貴重な経験であり今でも大きな財産だと感じています。

そして、大学では高校時代の勉強不足を補おうと勉学に励む決意をしたのもつかの間、入学早々友人に誘われハンドボール部に入学し、4年間全力でハンドボール競技に励み、4年生の時には体育会の委員長も務めました。そんな経歴ですので、就職活動の面接でもスポーツの話ばかりをしていたので、JTBの最終面接では「ところで君はちゃんと卒業できるのか？」と聞かれるような始末でした。

無事卒業し1996年にJTBに入社後、11年間静岡で、そしてその後金沢に異動して5年間の計16年間、企業や組織団体を中心に法人営業を担当いたしました。この期間が、これまでちょうど30年間勤めたJTB人生の中でも、日本全国各地、また海外では欧米やアジアを中心に最も多くの添乗業務を経験させていただいた期間でもありました。

その後は記載のとおり富山⇒中部本社⇒三重⇒名古屋と転勤を重ね、昨年2月に福井支店に着任し現在に至っております。北陸3県を勤務したことになりますが、社内でも恐らく初めての北陸3県制覇の社員ではないかと思います。

趣味は釣りで、楽しむためというよりは食べるために釣りをするくらい魚が大好きなので福井でも釣りを満喫したいと思います。釣り好きの皆さま、ぜひ一緒にさせてください。

●メークアップ 浅井正勝(12/6 地区2026-27年度 第1回ガバナー補佐ラーニングセミナー)、加藤有司・岩見祐樹・須賀原和広(3/1 地区会員増強アクション会議) 各君

## 幹事報告

## 幹事 増田 喜一郎



4月5日の地区大会の件です。まだ出欠のご連絡を頂いてない方もいらっしゃると思いますが、欠席で返事をされている方は今一度予定を見直して頂き、出席できるように調整頂けたらありがたいと思います。是非よろしくお願ひ致します。

さて、前置きが長くなりましたが社業について触れさせて触れさせていただきます。JTBは1912年、「ジャパン・ツーリスト・ビューロー」として、外国人を日本に誘致し、日本文化の理解促進、外貨獲得で国家繁栄を実現することを目的に、まさに訪日インバウンドの会社として創立されました。渋沢 栄一が創立に関わった会社の一つでもあります。以来時代ごとの社会課題を捉え、企業活動を通じた社会貢献を続けて参りました。

創立当初から1960年代前半までは、Ticket Agentとありますとおり、国鉄を中心に交通や宿泊券の代売モデルが中心の時代が続き、1960年代後半から1990年代にかけてはパッケージ旅行の開発や販売を手掛け、エース JTB やルック JTB といったブランドを生みだし、トラベルカンパニーとしてツーリズム産業の発展に貢献してきました。2000年代以降、特にコロナ禍を経て、旅行者の満足や法人の課題解決のために幅広いサービスを提供するソリューションカンパニーとして、現在では旅行のみならず、「交流を創造する」ことを事業ドメインとしております。

弊社ではこの「交流創造事業」を、「デジタル基盤の上に人の力を活かし、地域や組織の価値を共創し、人の流れだけでなく情報や物の流れを生み出すことで、人と人、人と地域、人と組織の出会いと共感をサステナブルにつくり続けること。」と定義し、「つなぐ・つくる・つなげる」ことを交流創造の源泉としています。

交流創造事業の全体像としては、旅行者の満足・課題解決、エリア・地域の持続的な発展、企業のエンゲージメント向上を目的に、ツーリズムを基盤としながら、地域軸と企業軸でソリューションビジネスの確立・拡大を図っており、3つの各戦略にONEJTBとしてグループ一体で取り組み、シナジーを追求しています。

その中で、法人事業としては、旅行者、地域、学校、企業をはじめ様々な人々・モノ・コトをつなぐ・つなげることでそれぞれの「絆」をつくり、その「絆」を広げ、深めることにより新たなイノベーションを創出したり、お客様の多様な課題に対しソリューションを提供したり、お客様と同じ思いで真摯に課題解決を実現しながら持続可能な未来へとつなげていきます。

こちらは具体的に JTB が提供できるサービス・ソリューションの一例です。旅行に限らず、ミーティング・イベント、周年事業やプロモーション、インバウンドなど、110年以上にわたる JTB ならではの対応力と JTB グループが保有するサービスとノウハウでお客様の課題解決と事業達成をサポートしています。

弊社の事業ポートフォリオは、主に総務系課題で、例えば運動会や入社式、株主総会の運営をさせていただいておりますし、営業系課題ですと展示会やマーケティング調査、インナー系ですとインセンティブ旅行やホスピタリティ研修なども事業展開しております。また、コロナ対策では、まさにここ数年本当に様々な事務局運営という形で業務をさせていただきましたし、アウトター系ですと周年事業やスポーツホスピタリティなど多岐に渡り事業を展開しております。

では、その中で2つのソリューションを紹介させていただきます。

1つ目はスポーツホスピタリティーです。JTBは、アジアで唯一MLBの公式観戦ツアーを取り扱えるスポンサー権利を獲得し、さらにロサンゼルスドジャースのオフィシャルパートナーにもなりました。ホスピタリティ・パッケージとは観戦チケットに飲食や体験などのホスピタリティサービスを組み込んだパッケージ商品のことですが、どんな特別感が味わえるかと言いますと、例えばドジャーススタジアムでの JTB 専用のプリゲームツアーでは、一般開場時間の前に入場し、ドジャース所属職員の日本語ガイドによる案内で、通常では入れない、様々な賞のトロフィー展示エリアや球団の歴史展示エリアを見学し、また試合前の練習がやっていたらその見学ができます。また、非売品のオリジナルグッズプレゼントや、一般開場前に入場するので限定品の買い物や食事を楽しむこともできる、非常に人気のある商品となっております。また、観戦ツアーだけでなく、シーズン外でも伝統あるドジャーススタジアムのフィールド内で、特別感あふれるプライベートなパーティーやスタジアムツアー、バッティングやゴルフ等の特別体験会の実施も可能です。ちょっと宣伝になってしましますが、ちょうど今週月曜日に福井新聞さんに掲載させていただいたドジャース観戦ツアーの広告ですが、JTB パーティーという JTB 特別デーも開催しており、元メジャーリーガーの方が特別ゲストとして登壇するイベントが開催されたりするなど、特別感を演出しています。

今年はいよいよ来月からWBCが開幕となりますが、WBCでも同様の価値を提供しておりますし、野球に限らずラグビーやバスケットボールにおいてもこのような特別感あるサービスを展開しております。 JTBではこの特別感やおもてなしによって、スポーツが生み出す感動をよりディープに力強く広げ、またスポーツビジネスの未来に夢と希望を掲げ挑戦し続けていきたいと考えています。今後はサッカーにおいても同様の展開をしていくと聞いております。

そして、特別感という意味ではもう一つ、ユニークベニューの展開にも力を入れています。まずは会場編ですが、会議や研修、レセプションや展示会・イベントを例えば世界遺産の二条城や姫路城で開催することができます。歴史文化の薫る非日常空間で「感動」を生み出すお手伝いをさせていただきます。部分的な利用はもちろん、閉園後の二条城を貸し切って記念イベントを実施したという実績もございます。

続いてこちらも非日常の特別空間を貸切でご利用いただくプランです。上質な空間や神秘的な空間など、用途に応じて特別な空間を周年記念パーティーや招待旅行など様々なイベントの会場としてご利用いただけます。例えば、平安神宮会館を貸切り、全員着物でパーティーをして古都で「和」や「雅」を感じていただいたり、東海道新幹線の車両を貸し切って「移動」を「特別なコミュニケーション空間」にしたりしてお客様だけの特別な記憶に残る体験の提供をしています。

また、一流の料理人やサービススタッフ。空間演出をつなぎ合わせてお客様が望む食事サービスを提供する特別な食事体験による感動のプロデュースもリビングオーベルジュというネーミングで展開しお客様の課題解決や価値向上に貢献させていただいております。

本日で紹介したのは弊社の事業、ソリューションのほんの一例ですが、JTB は旅の力でお客様の課題を解決していきたいと考えております。JTBのブランドスローガンは「感動のそばにいつも」。我々JTBがお届けしたいのは旅そのものではなくその「効果」です。「感動のそばにいつも」寄り添えるよう、交流を創造する会社として、「旅行会社」という枠を超え、皆様にとって良き相談相手・ビジネスパートナーを目指しこれからも精進して参ります。引き続きご指導よろしくお願ひします。ご清聴有難うございました。

